

News Letter

AQSI

N° 04

2024年3月



セネガル国看護師・助産師の臨床実習の質向上プロジェクト



プロジェクトで作成/改訂した行政文書・教材が技術承認されました

セネガルの看護、助産教育では、学生は養成校の演習で学んだ技術を実践するため保健医療施設で複数回の臨地実習を経験します。臨地実習の実施にあたっては、養成校と学生を受け入れる保健医療施設の調整方法や役割を明確にするための行政文書が不足していることや、統一された教材がないことなどが実習の質を担保するうえでの課題です。プロジェクトでは臨地実習の行政文書・教材の作成・改訂に向けて、これまで5回のワークショップを経て文書の草案を最終化し、これらの文書を用いて、2023年5～8月にかけて、パイロットフェーズを実施しました。パイロットフェーズで明らかになった課題をもとに、文書を修正し、2023年12月に実施したワークショップで「技術承認」されました。「技術承認」とは、作成・改訂した文書の内容が関係者に承認されたことを意味し、国の正式な文書となるための重要なプロセスです。承認された文書を使用して、拡大フェーズではプロジェクト対象州でより多くの養成校、保健医療施設に展開していきます。

技術承認に向けた活動（2023年6月-12月）

1.パイロットフェーズの研修後フォローアップ（6-8月）

5-6月にかけて実施したパイロット研修の対象の7つの私立養成校および13の保健医療施設を6-7月に訪問し、研修で学んだ内容が実践できているかどうかを確認しました。全ての養成校と保健医療施設で研修内容が他のスタッフに共有されていることが確認できました。一方、実習記録（ポートフォリオ）の記入方法が間違っている等、研修内容の実践については改善が必要な点もみられ、その場で正しい実施方法の説明を行いました。8月には、電話によるフォローアップを行い、6-7月の訪問時からの改善を確認することができました。

2.パイロットフェーズの評価（8-9月）

8月にティエス州で、9月にダカール州にて、パイロットフェーズの評価として対象の7つの養成校および13の保健医療施設を訪問し、教員や学生、臨地実習指導者に対してインタビューとアンケートを実施しました。この評価は、作成/改訂した行政・教材の臨地実習における実用性や、学生の実習の質の向上への効果を確認するための重要なプロセスです。インタビューとアンケートの結果から、プロジェクトで作成/改訂した行政・教材の導入に関して、全ての保健医療施設と養成校からポジティブな回答を得ることができました。一方で、文書の使用方法や手順の実施には、次頁のような課題や改善点もみつけられました。

技術承認までの道のり

キックオフおよび課題抽出ワークショップにてプロジェクトで作成・改訂すべき行政文書・教材について協議
(2022年5月)

全5回の行政文書・教材の草案作成ワークショップ
(2022年9月～2023年2月)

パイロットフェーズ（作成/改訂した行政文書・教材の試運用/フォローアップ）
(2023年5月～8月)

パイロットフェーズの評価
(2023年8月～9月)

パイロットフェーズの結果分析&技術承認準備会議
(2023年11月)

技術承認
(2023年12月)



研修後フォローアップで学生に教材の使用方法の説明を実施

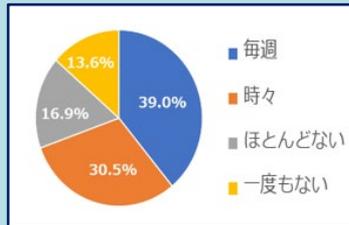


パイロットフェーズの評価で学生の意見を聞く、ティエス州保健研修センター校長

<評価ミッションで確認した課題・改善事例>

SEMAINE 1 : Objectifs de l'apprentissage en début de stage					
Étapes	Adressé	Thème	Objectifs à atteindre	Modalités de réalisation	Évaluation
1	Étudiant	Présentation de l'établissement de formation et de l'équipe pédagogique	Connaître les objectifs de l'apprentissage et les modalités de réalisation	Présentation orale et écrite	Questionnaire
2	Étudiant	Présentation de l'établissement de formation et de l'équipe pédagogique	Connaître les objectifs de l'apprentissage et les modalités de réalisation	Présentation orale et écrite	Questionnaire
3	Étudiant	Présentation de l'établissement de formation et de l'équipe pédagogique	Connaître les objectifs de l'apprentissage et les modalités de réalisation	Présentation orale et écrite	Questionnaire

学生が実際に記入した実習ポートフォリオ。記入方法がわからず空欄が目立つ。



学生と実習指導者が実習内容について話し合う頻度。定期的なコミュニケーションが不十分である。

-- 改善案 --

- ・各教材/記録に記入する際の補足説明や記入例を作成する。
- ・拡大フェーズに向けた研修では、教材の具体的な使用方法について演習時間を設け、教員・指導者・学生の教材に対する理解を深める。
- ・実習指導者が学生がフィードバックを求めたり、質問したりしやすいような態度を示すよう促す。

3.パイロットフェーズの結果分析&技術承認準備会議（11月）

11月23-24日に、保健省人材局研修課、パイロットフェーズの対象の養成校および保健医療施設の関係者などを招待し、パイロットフェーズの評価結果について協議し、技術承認に向けた準備のための会議を実施しました。パイロットフェーズの評価で明らかになった問題点を共有し、行政文書・教材のうち、改善の必要性がみられた文書に関しては、具体的な修正点について合意が得られました。

4. 行政・教材の技術承認ワークショップ（11-12月）

11月29日-12月1日に、行政・教材の技術承認を行うワークショップを開催しました。人材局長の司会進行の下、保健省、高等教育省、職業訓練・実習・雇用促進省、8つの州保健局、7つの州保健研修センター、私立保健人材養成校組合（COSEPS）、対象州の保健医療施設、私立人材養成校の関係者など、計56名が参加しました。11月23日-24日に実施したパイロットフェーズの結果分析&技術承認準備会議で合意された修正点を共有し、6つのグループに分れて各文書の最終確認作業を行いました。このワークショップでは、プロジェクトの対象州以外の州の関係者も参加し、関係者全員がこれらの行政文書・教材を今後使用していくという共通の認識を得ることができました。また、パイロットフェーズの結果を踏まえ、拡大フェーズへ向けた提言がまとめられました。



技術承認ワークショップ後の集合写真

プロジェクトで作成/改訂した文書一式

行政文書

臨地実習体制調整の仕組みや統一した手順や基準が記載されている。全ての養成校や学生を受け入れる保健医療施設が統一した方法で実習を行うことで、質の担保が可能になる。



看護師・助産師臨地実習の質の改善のための協議枠組みオリエンテーションガイドライン



看護師・助産師の臨地実習管理のためのプロセスおよび手順マニュアル

教材

学生の実習記録や、学生による目標設定、自己評価、教員・実習指導者による評価等に活用する教材。臨地実習のオリエンテーション冊子、実習中に学生が習得すべき技術・能力が記載されている実習冊子、学生による実習目標や振り返りを記録する実習ポートフォリオ、学生の技術・能力を評価するための評価ツール、患者や妊産婦へのケアを提供する上で必要な情報収集・ケアの計画・実施・評価を行うためのツール等が含まれる。

実習冊子（看護師、助産師）



実習ポートフォリオ（看護師、助産師）



看護記録 助産師用症例記録



実習評価グリッド（看護師、助産師）



実習生向け医療施設のオリエンテーション冊子



COSEPS代表のインタビュー



アブドゥライ・ゲイ、COSEPS代表

セネガルでは、私立の看護師・助産師養成校が多く存在するため、臨地実習の質の向上のためには、COSEPS（セネガル私立保健人材養成組合）との連携が不可欠です。COSEPSの代表は、これまで行政文書・教材の作成・改訂から承認に至るまでの一連のプロセスや、ティエス州の協議枠組みへの参加、パイロットフェーズの評価など、プロジェクトの様々な活動に参加しています。

私立養成校における看護師・助産師を対象とした臨地実習の課題を教えてください。また、COSEPSとして、それらの課題に対してどのように対応していますか？

これまでの看護・助産学生を育成した経験から、臨地実習の質の向上における課題はまだたくさんあると認めざるをえません。臨地実習の質を向上させるために、臨地実習の関係者が取り組むべき点は主に以下の4つだと考えています。

- ✓ AQSISで作成/改訂し、パイロットフェーズを経て承認された行政文書・教材を、臨地実習関係者が活用すること
- ✓ 私立養成校と保健医療施設の実習指導者が、臨地実習の学生の指導・評価において良好な連携体制を確立すること
- ✓ 学生が、養成校での演習を通じて臨地実習中に看護記録を適切に使用できるように支援すること
- ✓ 私立養成校の教員が、臨地実習の事前調査およびスーパービジョンを実施すること

臨地実習の質の向上における課題を解決するため、COSEPSは私立養成校の役員会、集会、運営委員会等の会議の場を活用し、養成校に対して上記の取り組みを進めていきたいと考えています。

行政文書・教材が技術承認され、今後は拡大フェーズで、対象州のダカール州、ティエス州の養成校と保健医療施設へ展開していきます。COSEPSは拡大フェーズにどのようなことを期待していますか。また、AQSISの対象州は2州のみであることを踏まえ、COSEPSはどのような役割を果たせると考えていますか？

COSEPSを代表し、この場を借りて、臨地実習の実施にかかる関係者、養成校、保健医療施設などすべての関係者を巻き込み、インクルーシブに活動を進める保健省人材局研修課とAQSISに心から感謝します。COSEPSはこのプロジェクトの主要な活動に毎回参加してきました。COSEPSとしては、AQSISの対象州であるダカール州・ティエス州に加えて、それ以外の全ての州の私立養成校に対して、プロジェクトの活動が展開することを期待します。例えば、技術承認された行政文書・教材が、全ての養成校で活用できるようになること、また、養成校の教員がこれらの文書・教材を活用して臨地実習の質を担保できるように教員を対象とした研修を実施する必要があります。また、その他に、COSEPSの教育委員会を通じて、承認された行政文書・教材が全ての私立養成校でも使用できるようにします。そして、全ての私立養成校の教員が研修を受けられるように、保健省や他開発パートナーに支援の要請をします。

COSEPSは臨地実習の質の向上の全国協議枠組み、および州の協議枠組みの主要メンバーです。これらの枠組みが適切に機能するために、保健省や州保健局に提案したいことはありますか？

全国協議枠組み、州の協議枠組みが機能するためには、枠組みの設置目的や構成メンバーの任命について、保健省や州保健局の署名をもって保証され、適切に運用されることが必要です。

看護師・助産師の養成校と実習生を受け入れる保健医療施設にメッセージをお願いします

私立養成校へ：看護師・助産師の臨地実習の現場では、養成校と保健医療施設の調整や、教材の質、指導方法など様々な課題があります。プロジェクトを通じて改訂された行政文書/教材を活用して、それらの課題に向き合い、解決して欲しいと思います。

保健医療施設へ：保健人材の育成は、保健医療施設の使命の一つです。保健医療施設は、臨地実習中の学生への適切な指導や評価、ひいてはセネガルが質の高い保健人材を輩出するために重要な役割を果たすことを念頭に置いて欲しいです。

2023年7月～12月の活動進捗

1. テイエス州協議枠組みの取り組み

ティエス州で、州レベルで看護師・助産師の臨地実習体制の調整を担う協議枠組みが5月に設置されました。この枠組みの中に、実習の事前調査・計画委員会、スーパービジョン・実習指導委員会の2つの委員会が設置されています。

8月17日に第1回目となるスーパービジョン・実習指導委員会を開催しました。州保健局、ティエス州内の保健人材養成校、保健医療施設の関係者等、計26名が参加し、現状のスーパービジョン実施体制の課題や改善点に対する意見交換や、スーパービジョンの評価項目（計画・調整、実習指導、実習環境、実習状況の評価）について確認しました。

8-9月に実施したパイロットフェーズの評価にあわせてスーパービジョンを実施し、評価項目に沿った課題抽出や教員や実習指導者と解決策を協議しました。スーパービジョン後にその結果の共有会合を行い、優先的に取り組むべき課題について確認しました。

11月3日には、第1回目の実習の事前調査・計画委員会を開催し、保健省、州保健局、ティエス州内の保健人材養成校、保健医療施設の関係者等、計38名が参加しました。これまでは、適切な実習環境を確認するための統一した事前調査が実施されておらず、各養成校が独自に実施していました。その結果、受け入れ可能人数を超えた学生が保健医療施設での実習に送られたり、学生の実習目的と保健医療施設が提供できる実習内容が合致していなかったりする等の課題が生じていたため、州協議枠組みが中心となって実習事前調査を実施する方針となりました。今回の会議では、調査の実施方法を協議の上決定し、今後のスケジュールや役割分担について合意しました。

2. 統合合同調整委員会 (COPiL) の実施

10月11日に、統合合同調整委員会 (COPiL) が開催されました。COPiLは、セネガルにおける日本の保健セクター支援に関する関係者が集まり、各プロジェクトの進捗報告や意思決定を行う会議です。AQSiSは、パイロットフェーズの評価結果、指標の達成状況について報告を行いました。



COPiLでAQSiSの活動の進捗を報告する人材局国家試験室室長

ティエス州協議枠組み

州レベルでの、臨地実習の効率的な調整や実習状況とその質の改善を目的とした、臨地実習の関係者による定期的な協議の場。

事前調査・計画委員会

養成校と保健医療施設間の学生受入の調整のための事前調査や実習受入れ計画策定をする。

スーパービジョン・実習指導委員会

臨地実習の質の改善を目的に、実習調整体制・実習環境・実習指導の監督/評価を行う。

ティエス州協議枠組みの組織図

3. 他開発パートナーとの連携

看護師・助産師の人材育成に取り組む米国NGOのIntraHealthのClassroom to Care (C2C) プロジェクトと定期的に協議の場を持ち、連携して活動を進めています。7月と10月に、人材局研修課、C2C、AQSiSで調整会合を実施し、活動計画の共有や連携方法について協議しました。また、11月にC2Cプロジェクト本部があるマリの代表と面会し、これまでのプロジェクトとの連携による成果を再確認するとともに、C2Cと合同での研修ツールの作成や、C2Cがティエス州の養成校に供与した技術演習用機材の本プロジェクトにおける活用の検討など、今後の継続した連携について確認しました。



人材局研修課、C2Cとの調整会合にて活動計画、プロジェクトの進捗を報告

2024年1月～2024年6月の活動予定

- ✓ 行政文書、教材の保健省承認の手続き
- ✓ 協議枠組みの開催
- ✓ 拡大フェーズに向けた講師ガイドライン、演習ノート、講義用プレゼンテーションの作成
- ✓ 拡大研修の講師養成研修と教員・指導者向け研修